

2. 指標設定

成果指標	指標名	安全安心な給食を提供		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			H27 安全・安心な給食の提供と食育指導の推進			
活動指標	指標	a	食の指導	b	給食の実施数	c		d
	数値	目標	186回	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
安全安心な給食を提供		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 食の指導	回	180 回	180 回	174 回
	%	96.8 %	96.8 %	93.5 %
b 給食の実施数	ヶ所	30 ヶ所	30 ヶ所	26 ヶ所
		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
給食費の未収金増加
対応（改善点等）
未収者の分析と法的措置，新規未納者の対策

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

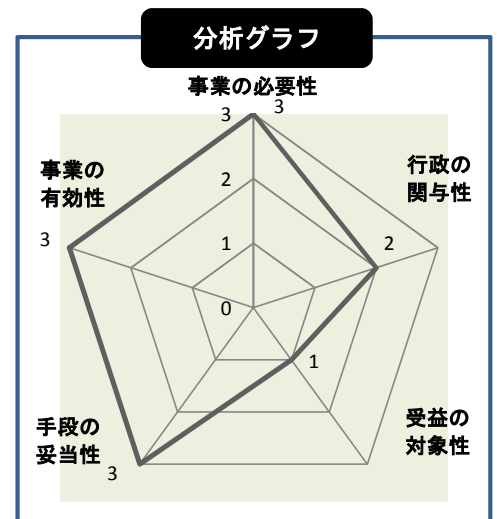
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		279,000	276,910	257,600	265,033
うち経常経費		274,000	266,444	257,600	265,033
財源内訳	国費	12,600	1,319		
	県費				
	市債				
	その他	168,644	164,347	161,814	160,013
	一般財源	97,756	111,244	95,786	105,020
うち経常		92,756	111,244	95,786	105,020
事業費に係る人件費		93,392	110,931	113,873	107,500

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
望ましい食習慣を身に付ける食育の推進、地域の特性を活かした地産地消の拡大を図るため必要である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 学校給食法・食育基本法による目的達成のため
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 調理部門等の一部外部委託の可能性がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 給食を提供する者に限られるため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 現状の事業運営で適切である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待した通りの事業成果が上ってる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応するとともに、公共施設の見直し方針に則り事業の進捗を図ること 未納者対策に取り組むこと